

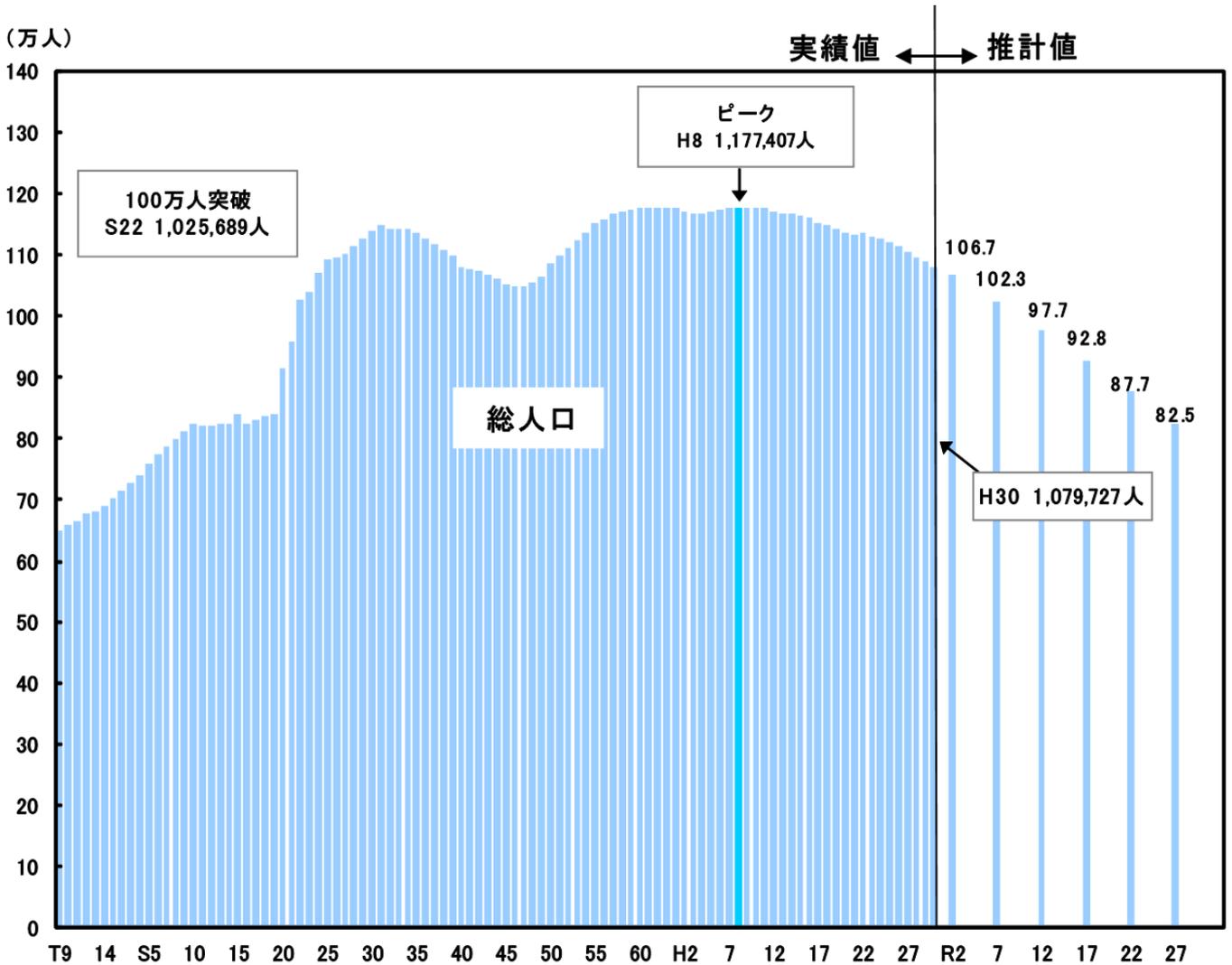
《参 考 资 料》

参 考 資 料 目 次

1	本県の人口推移と将来推計・・・・・・・・・・・・・・・・	131
2	本県の中山間地域と人口推移（将来推計を含む）・・・・・・・・	135
3	本県の移住実績・・・・・・・・・・・・・・・・	136
4	本県の進学・就職に係る状況・・・・・・・・・・・・・・・・	137
5	結婚・出産・子育てに関する県民意識調査・・・・・・・・	140
6	本県の晩婚化・未婚化に係る状況・・・・・・・・・・・・・・・・	141

1 本県の人口推移と将来推計

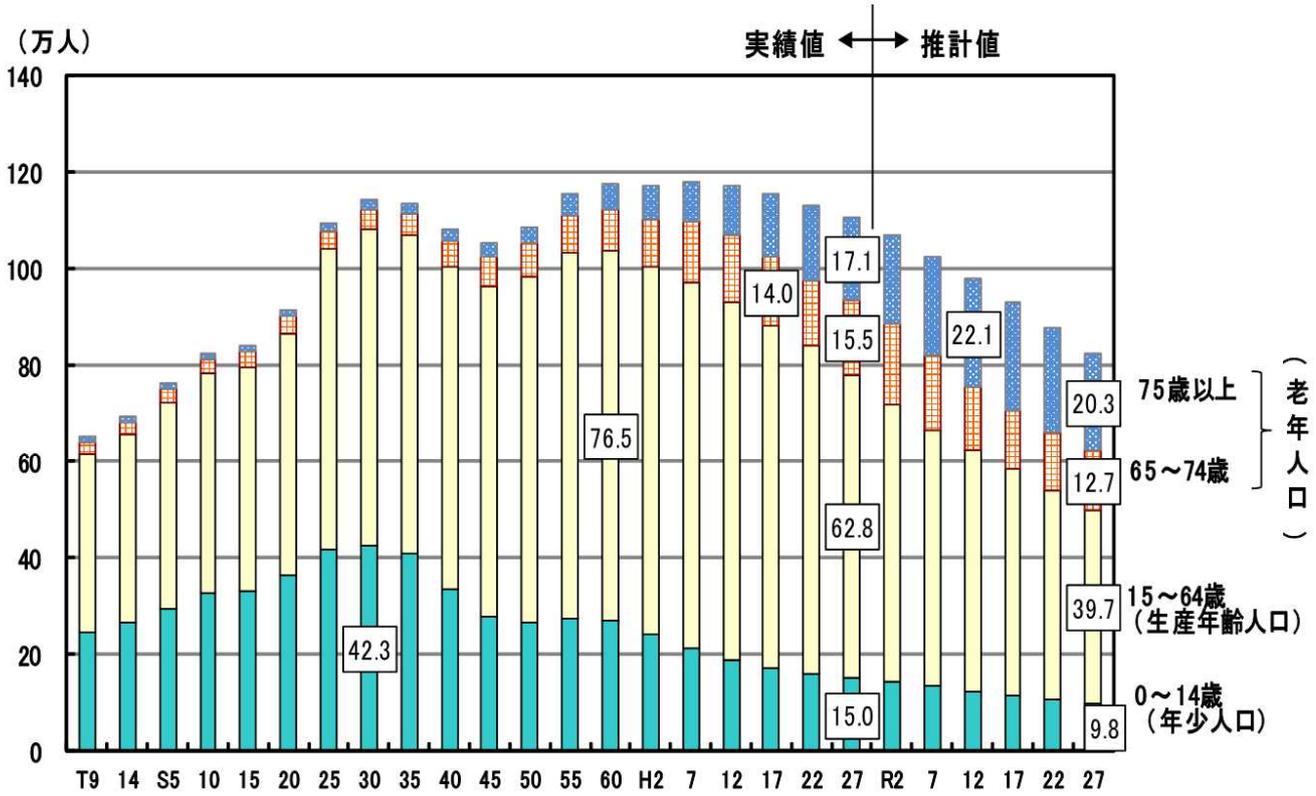
① 本県人口の推移（将来推計を含む）



注：各年10月1日現在の人口

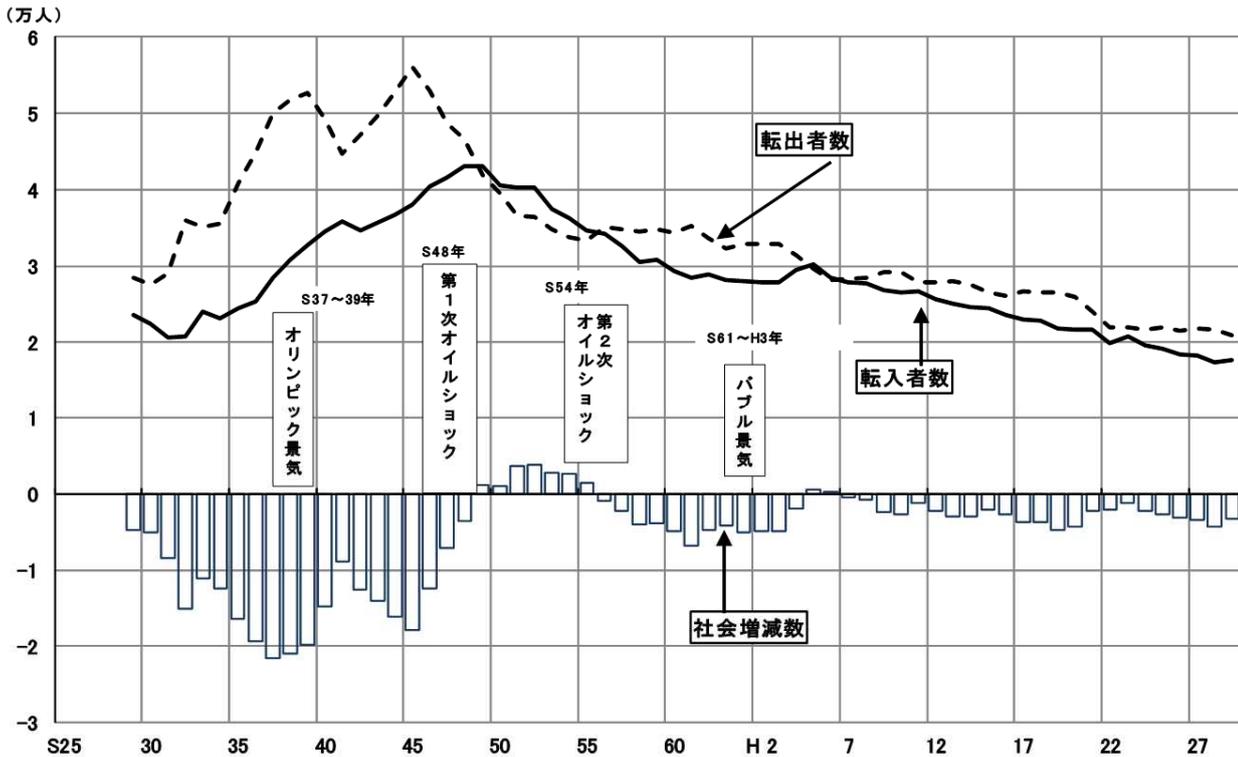
資料：国勢調査の年(昭和20年以外の平成27年までの表記年及び昭和22年)は総務省「国勢調査」
その他の年は昭和34年以前は総務省「人口推計」、36年以降は県統計調査課「宮崎県現住人口調査」、
令和2年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H30.3推計)」

② 年齢区分別人口（実数）の推移



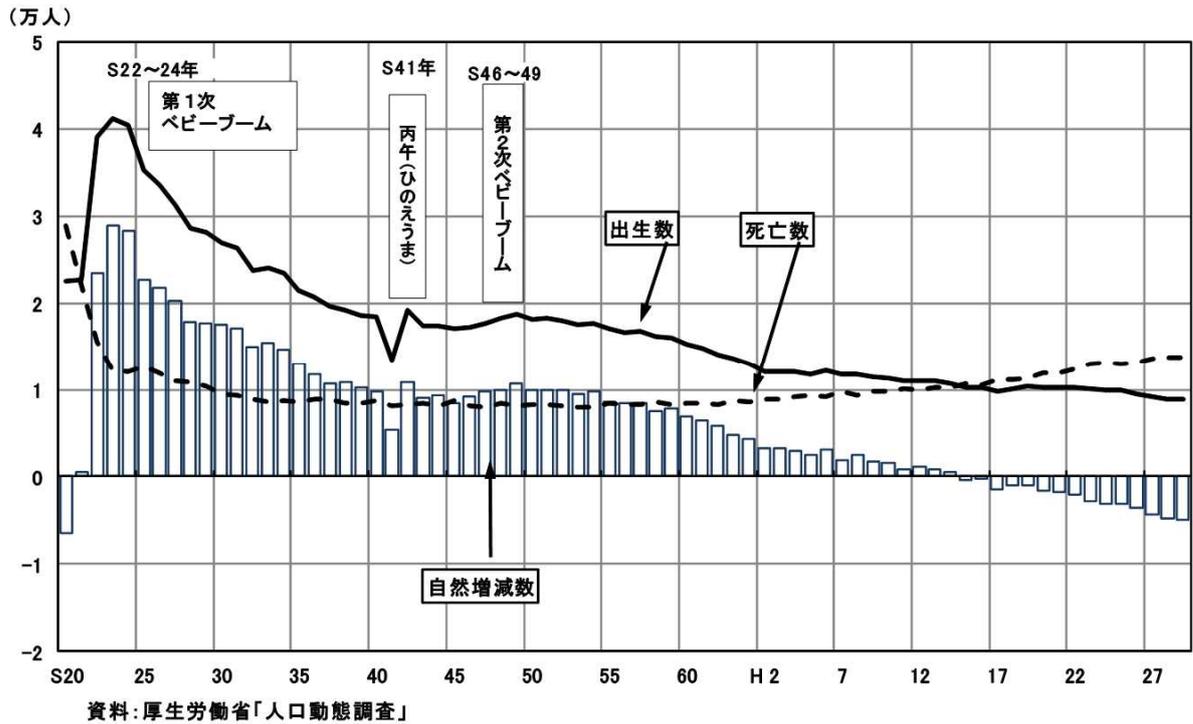
資料：平成27年までは総務省「国勢調査」（ただし、昭和20年は「人口調査」）
令和2年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（H30.3推計）」

③ 社会動態の推移

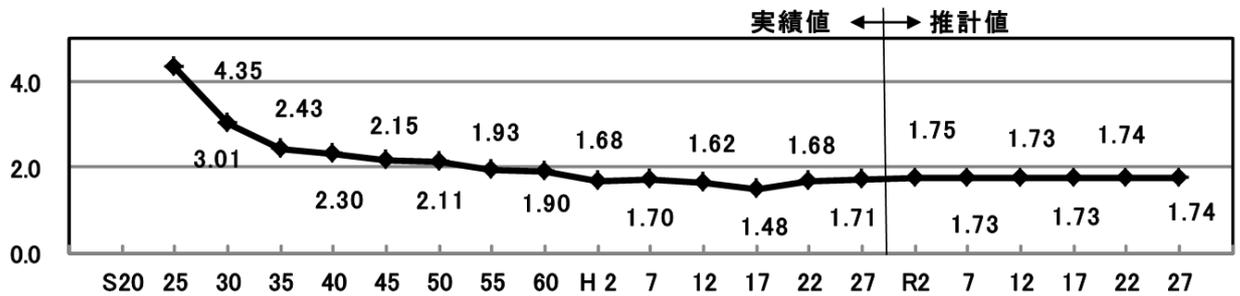


資料：総務省「住民基本台帳移動報告」

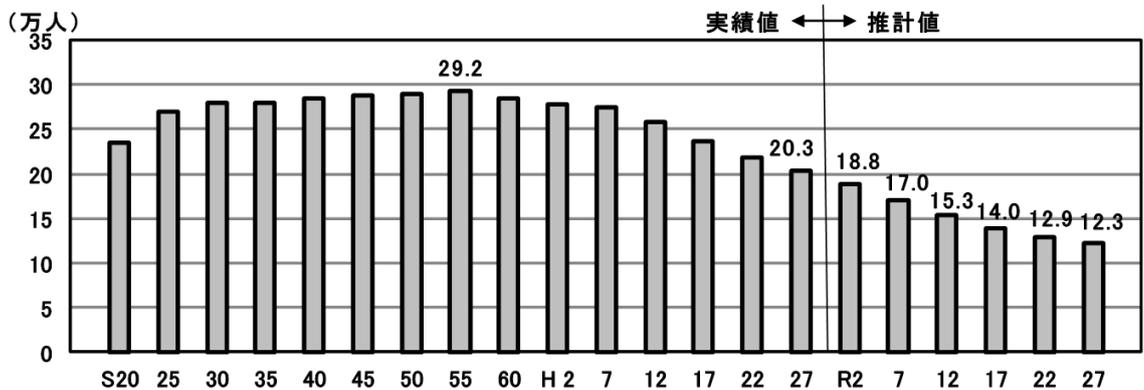
④ 自然動態の推移



⑤ 合計特殊出生率の推移（将来推計を含む）



⑥ 15歳から49歳までの女性人口の推移（将来推計を含む）



⑦ 市町村別人口の推移（将来推計を含む）

※（ ）内は県人口に占める割合を表す

	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2025年 (令和7年)	2035年 (令和17年)	2045年 (令和27年)	2045年人口の 対2015年比
全国	128,057,352	127,094,745	122,544,103	115,215,698	106,421,185	83.7
宮崎県	1,135,233	1,104,069	1,023,170	928,034	824,806	74.7
宮崎東諸県	428,716 (37.8%)	428,089 (38.8%)	418,724 (40.9%)	398,878 (43.0%)	370,939 (45.0%)	86.6
宮崎市	400,583	401,138	394,839	378,275	353,770	88.2
国富町	20,909	19,606	16,874	14,134	11,253	57.4
綾町	7,224	7,345	7,011	6,469	5,916	80.5
南那珂	78,142 (6.9%)	72,869 (6.6%)	61,857 (6.0%)	51,090 (5.5%)	40,924 (5.0%)	56.2
日南市	57,689	54,090	46,562	38,981	31,695	58.6
串間市	20,453	18,779	15,295	12,109	9,229	49.1
北諸県	194,402 (17.1%)	190,433 (17.2%)	178,295 (17.4%)	163,862 (17.7%)	148,646 (18.0%)	78.1
都城市	169,602	165,029	152,757	139,295	125,496	76.0
三股町	24,800	25,404	25,538	24,567	23,150	91.1
西諸県	79,876 (7.0%)	75,059 (6.8%)	65,109 (6.4%)	55,273 (6.0%)	45,775 (5.5%)	61.0
小林市	48,270	46,221	41,482	36,414	31,308	67.7
えびの市	21,606	19,538	15,765	12,344	9,247	47.3
高原町	10,000	9,300	7,862	6,515	5,220	56.1
西都・児湯	107,003 (9.4%)	101,901 (9.2%)	89,951 (8.8%)	77,218 (8.3%)	64,303 (7.8%)	63.1
西都市	32,614	30,683	26,378	22,079	17,797	58.0
高鍋町	21,733	21,025	19,199	17,155	15,081	71.7
新富町	18,092	17,373	15,564	13,569	11,421	65.7
西米良村	1,241	1,089	855	685	566	52.0
木城町	5,177	5,231	4,769	4,245	3,725	71.2
川南町	17,009	16,109	14,131	12,007	9,794	60.8
都農町	11,137	10,391	9,055	7,478	5,919	57.0
東臼杵	224,481 (19.8%)	215,130 (19.5%)	192,632 (18.8%)	168,552 (18.2%)	144,235 (17.5%)	67.0
延岡市	131,182	125,159	111,312	96,820	82,423	65.9
日向市	63,223	61,761	57,324	51,704	45,498	73.7
門川町	18,854	18,183	16,363	14,343	12,266	67.5
諸塚村	1,882	1,739	1,288	939	667	38.4
椎葉村	3,092	2,808	2,160	1,621	1,191	42.4
美郷町	6,248	5,480	4,185	3,125	2,190	40.0
西臼杵	22,613 (2.0%)	20,588 (1.9%)	16,602 (1.6%)	13,161 (1.4%)	9,984 (1.2%)	48.5
高千穂町	13,723	12,755	10,674	8,735	6,865	53.8
日之影町	4,463	3,946	2,942	2,183	1,540	39.0
五ヶ瀬町	4,427	3,887	2,986	2,243	1,579	40.6

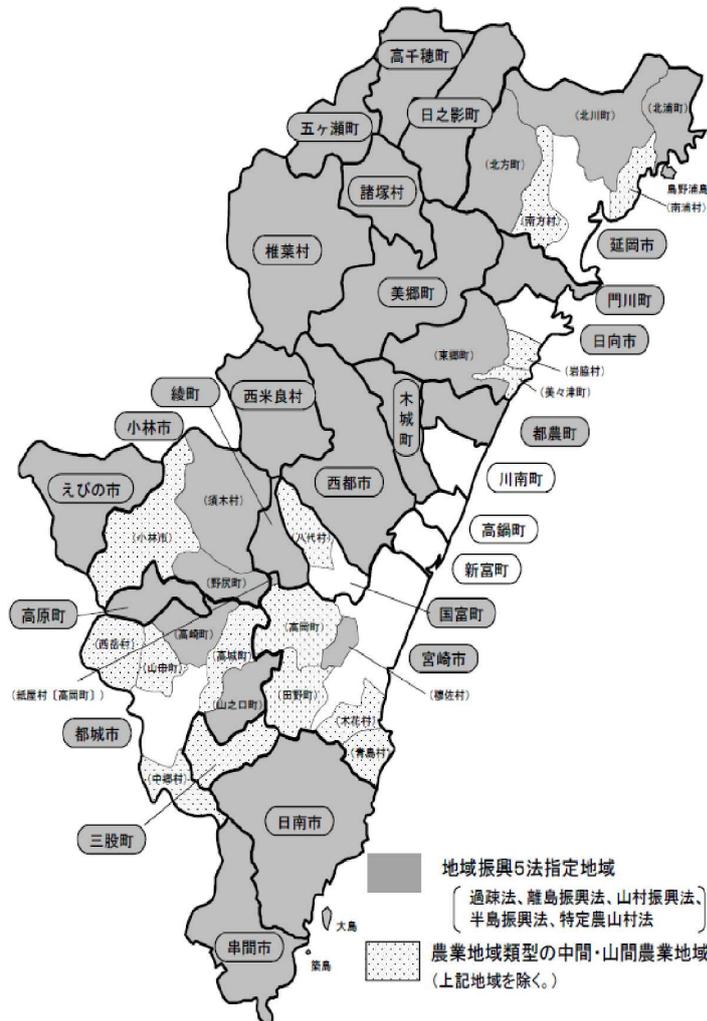
注：各年10月1日現在の人口

資料：平成27年までは総務省「国勢調査」

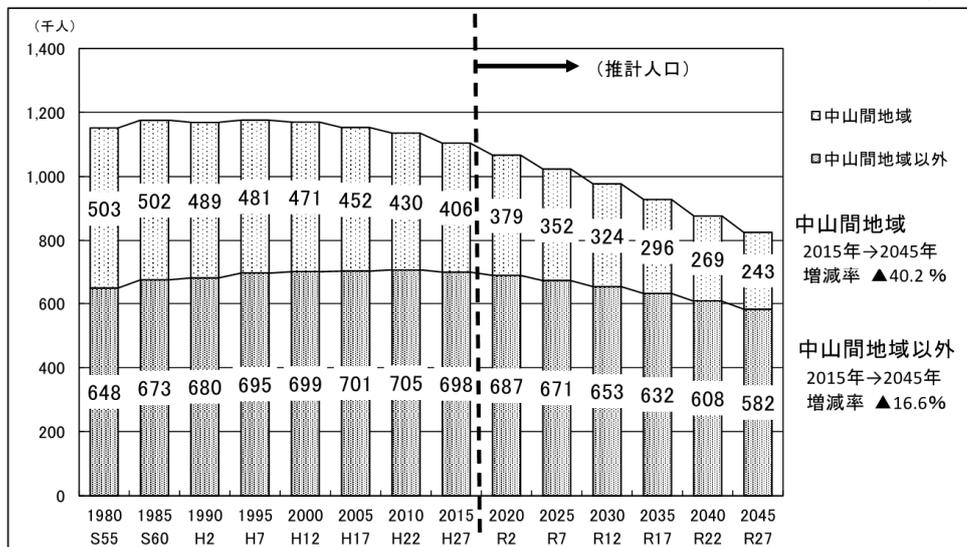
令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H30.3推計)」

2 本県の中山間地域及び人口推移（将来推計を含む）

宮崎県中山間地域振興条例（平成23年宮崎県条例第20号）及び同施行規則において、地域振興5法と農業地域類型（農林業センサス等に基づき農林水産省が分類）の中間・山間農業地域を中山間地域と規定。



本県の中山間地域の人口は、昭和55(1980)年から減少が続いており、将来推計においても平成27(2015)年に対し令和27(2045)年は約4割の人口減が見込まれる。



資料：2015(平成27)年までは総務省統計局「国勢調査結果」、2020(令和2)年以降は県の独自推計

3 本県の移住実績

① 平成30年度の移住実績（県及び市町村が移住対策により把握した移住世帯数等）

○県全体

平成30年度実績	471世帯	847人
(参考)		
平成29年度実績	506世帯	932人
平成28年度実績	388世帯	729人

※ 移住とは、「本人（家族）の意思に基づき、定住することを目的に、県外から県内に生活の拠点を移すこと」と定義している。このため、勤め先の都合による「転勤」や、本県の暮らしが一時的なものとなる「進学」による転入などは除く。

○年代別内訳

年代別 (世帯代表者)	世帯数	構成比(%)
10代	8	1.7%
20代	148	31.4%
30代	149	31.6%
40代	82	17.4%
50代	36	7.6%
60代	28	5.9%
70代以上	9	1.9%
不明	11	2.3%
合計	471	100.0%

○移住前居住地の地域別内訳

地域別	世帯数	構成比(%)
北海道	2	0.4%
東北	4	0.8%
関東	152	32.3%
中部	45	9.6%
近畿	80	17.0%
中国・四国	24	5.1%
九州・沖縄	153	32.5%
海外	7	1.5%
不明	4	0.8%
合計	471	100.0%

※不明については、本人から回答を得られなかったもの。

○移住理由

	就職	就農	Uターン	地域 おこし 協力隊	サー フィン	漁業	田舎暮 らし	福祉関 係に就 職	起業	パ・トナ と 同居	子育て	親の介 護	不明・ その他	計
世帯数	130	59	37	23	16	16	12	8	7	6	5	2	150	471
構成比(%)	27.6	12.5	7.9	4.9	3.4	3.4	2.5	1.7	1.5	1.3	1.1	0.4	31.8	

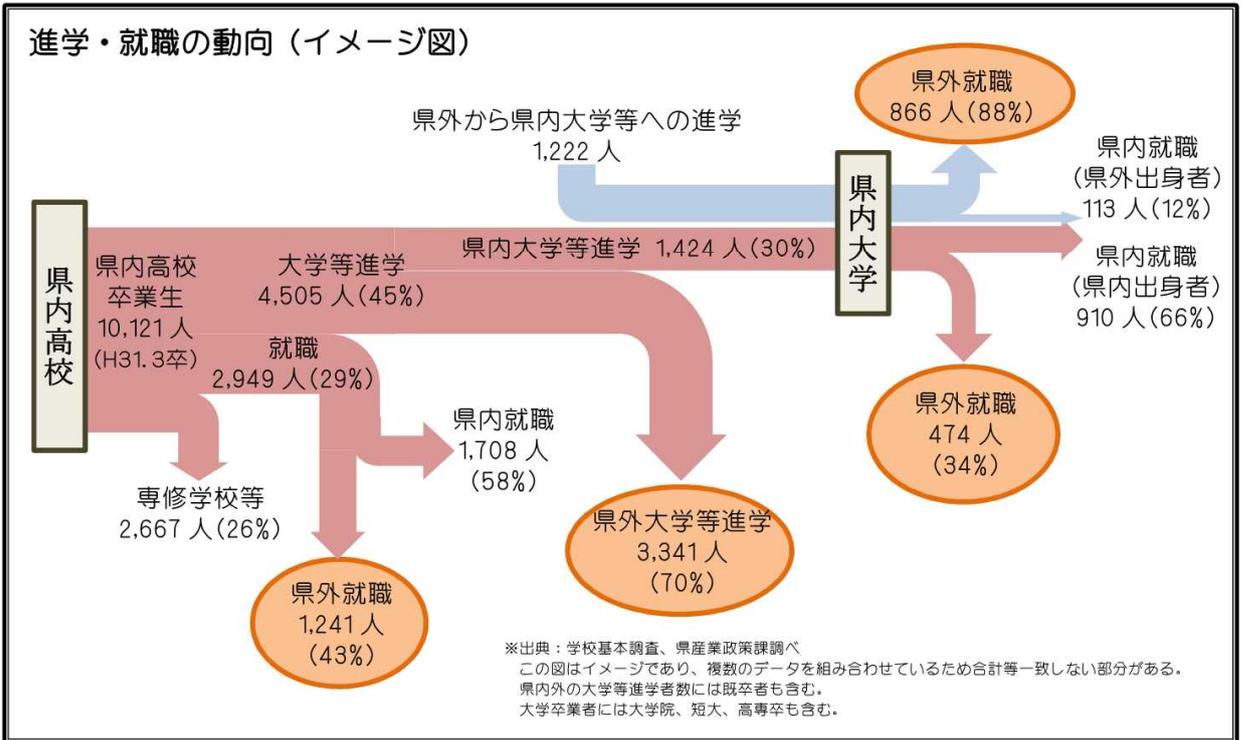
② 平成28年度～平成30年度の移住世帯数に係る市町村別内訳

市町村名	H28年度	H29年度	H30年度	市町村名	H28年度	H29年度	H30年度
宮崎市	129	174	147	新富町	2	3	7
都城市	34	58	60	西米良村	5	3	0
延岡市	20	31	35	木城町	3	0	2
日南市	47	44	45	川南町	13	18	21
小林市	16	19	24	都農町	5	13	3
日向市	12	20	18	門川町	0	5	3
串間市	14	18	9	諸塚村	0	1	2
西都市	12	7	11	椎葉村	2	6	4
えびの市	23	29	20	美郷町	3	1	3
三股町	3	5	4	高千穂町	5	14	3
高原町	12	4	5	日之影町	6	2	10
国富町	3	4	3	五ヶ瀬町	4	2	5
綾町	10	12	8	不明	1	4	4
高鍋町	4	9	15	総計	388	506	471

4 本県の進学・就職に係る状況

① 本県の高校生、大学生の進学・就職の動向

- 県内高校の卒業生約1万人のうち半数程度が進学や就職で県外に転出。
- 高卒者の県内就職率が徐々に向上している一方、大卒者の県内就職率は4割程度を横ばいで推移。
- 高卒者の県外進学先としては九州・沖縄地域が最も多い(58.2%)。また、県外就職先としては関東地域が最も多い(31.7%)



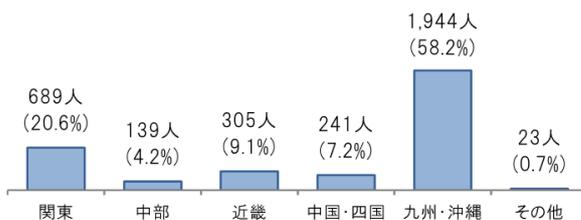
■ 高卒者の県内就職率

	H27.3卒	H28.3卒	H29.3卒	H30.3卒	H31.3卒
宮崎県	54.0%	54.8%	55.8%	56.8%	57.9%
全国平均	81.6%	81.3%	81.2%	81.1%	80.6%

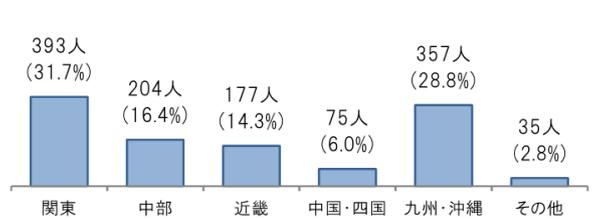
■ 県内大学等卒業者の県内就職率

	H27.3卒	H28.3卒	H29.3卒	H30.3卒	H31.3卒
全体	46.2%	42.8%	44.3%	43.1%	43.3%
県内出身	71.0%	68.1%	69.1%	66.3%	65.8%
県外出身	14.5%	12.1%	12.7%	11.2%	11.5%

■ 高卒者の地域別進学状況 (H31.4入学)



■ 高卒者の地域別就職状況 (H31.3卒)



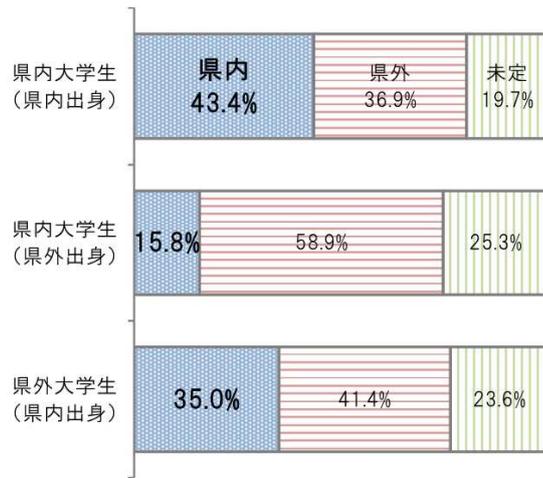
② 高校生・大学生等の県外流出（就職）の要因等

「若者の県外流出要因等調査結果（H31.1）」、「高校生の進路選択に関するアンケート調査結果（H31.2）」より

(1) 卒業後の進路選択

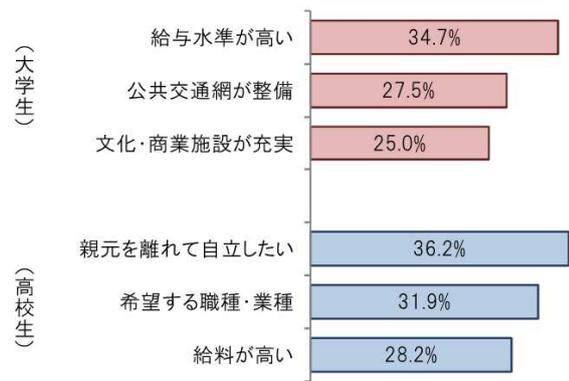
- ◇ 大学卒業後働きたい場所について、県内出身者は「県内」、県外出身者は「県外」が最も多いが、県外に進学した学生でも3割強が「県内」と回答。
- ◇ 「県外」を選ぶ（選んだ）理由として、大学生は給与水準や公共交通網・商業施設等の充実、高校生は親元からの自立や希望の業種等が上位。

◆卒業後に働きたい場所（大学生）



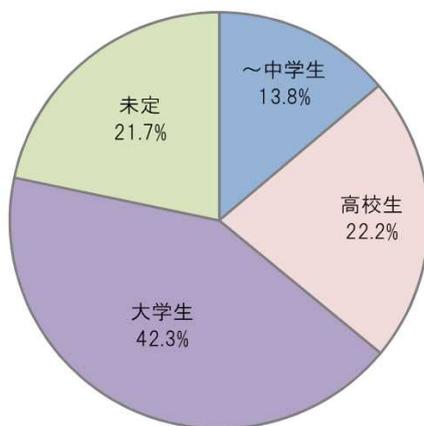
◆「県外」を希望する（選んだ）理由

(上位3つ)



- ◇ 大学生が就職場所（「県内」か「県外」か）を決めた時期について、大学在学時が最も多いが、高校生以前に決めた学生も3割以上。
- ◇ 就職先選択に影響を与える人として、大学生・高校生共に保護者という回答が多い。

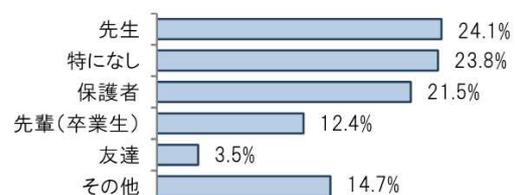
◆就職場所の決定時期（大学生）



◆就職活動の相談相手（大学生）



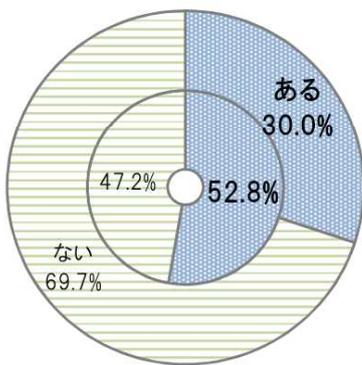
◆就職先選択で最も影響を受けた人（高校生）



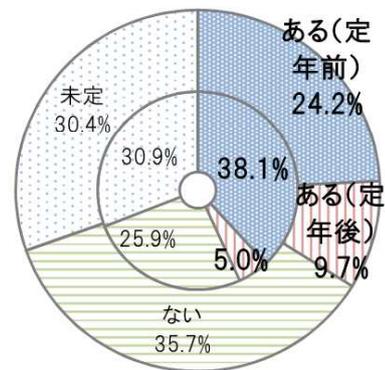
(2) Uターンの可能性

- ◇ 県外就職を希望する学生の約3割、特に県内出身者では5割の学生が将来的に宮崎に戻る可能性ありと回答。
- ◇ すでに県外で就職している本県出身者でもUターンの意向が3割程度存在。

◆ 県外で働く場合、将来的に宮崎に戻る意思（大学3年生） （内側の円は県内出身者）

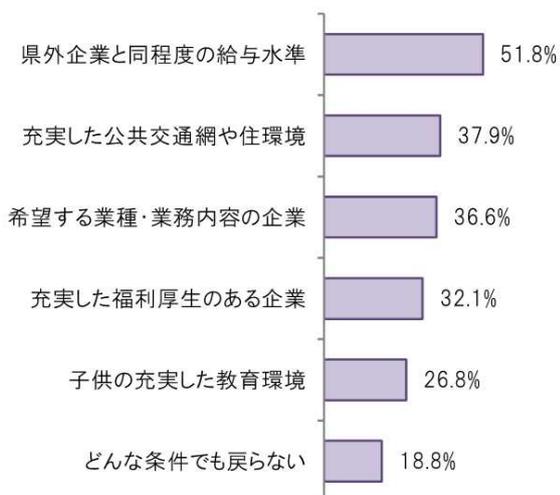


◆ 県外社会人のUターンの意向 （内側の円は29歳以下）



- ◇ 現時点でUターンの意向のない県外社会人も、将来Uターンを検討する条件として給与水準を重視。
- ◇ Uターンを検討する上で、企業概要や求人情報、教育環境等の情報充実を求める意見が多い一方、7割以上が関連情報との接点がない。

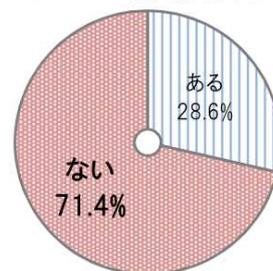
◆ 今はUターンの意向はないが、 どういう条件が整えば検討するか



◆ Uターンの検討に欲しい情報

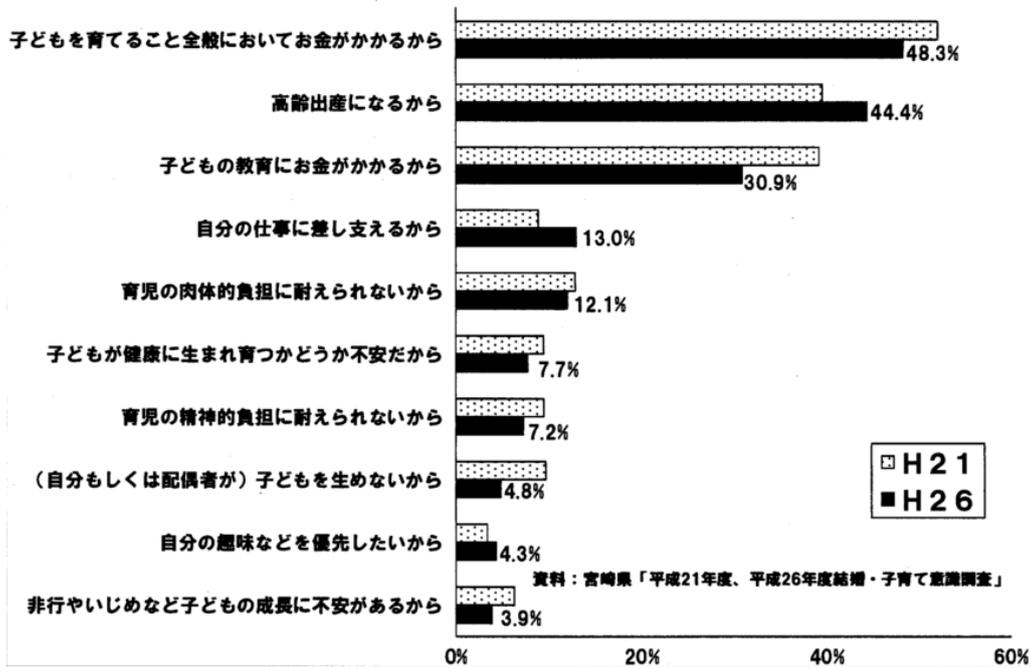


◆ 県外でUターン情報を見ることがあるか

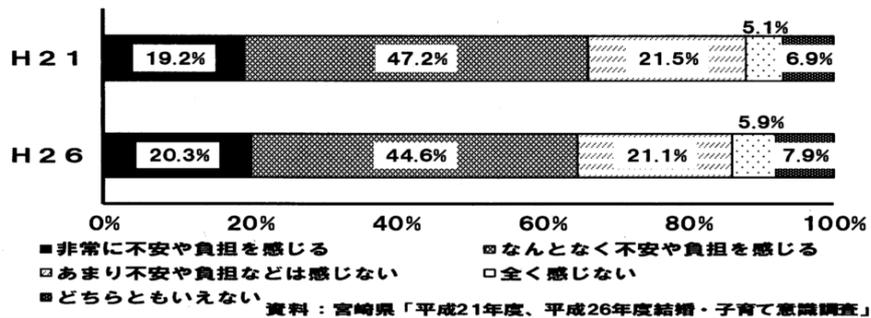


5 結婚・出産・子育てに関する県民意識調査

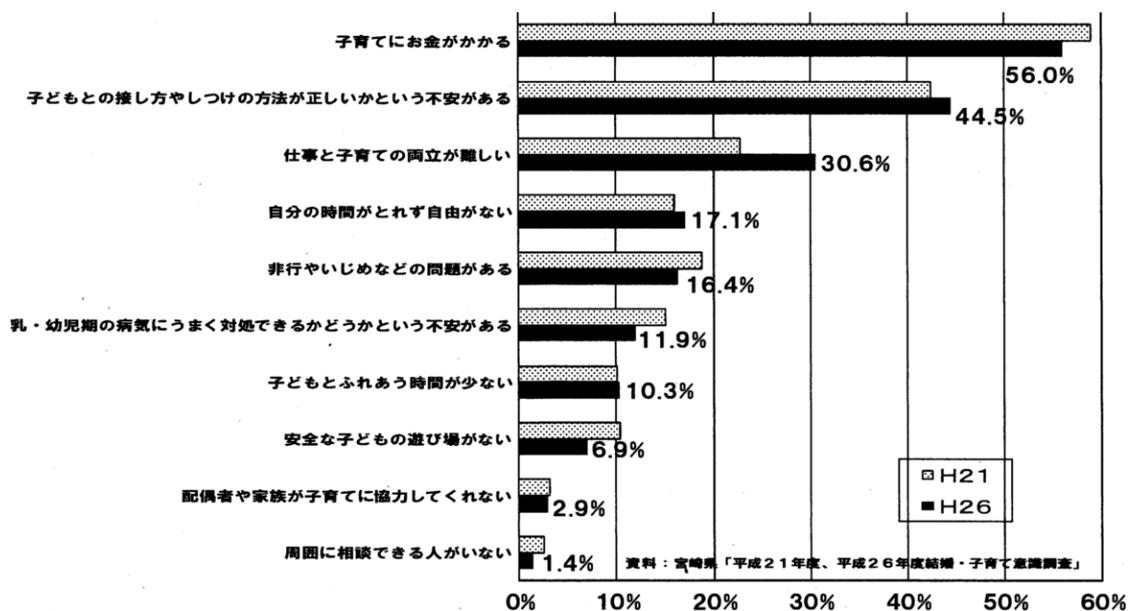
① 予定している子どもの数が理想よりも少ない主な理由



② 子育てに関する不安感や負担感の有無



③ 子育てに関する不安感や負担感の内容

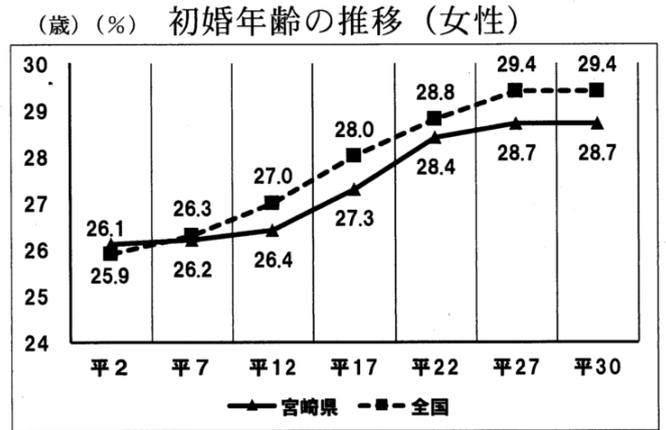
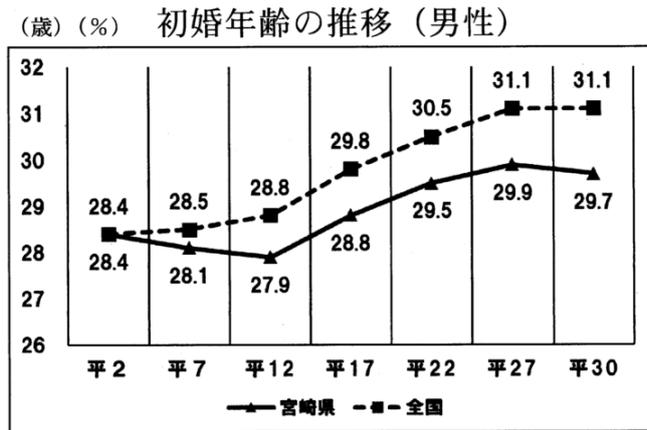


6 本県の晩婚化・未婚化に係る状況

① 晩婚化の状況

全国の平成30年の平均初婚年齢は、夫31.1歳、妻29.4歳で、夫婦ともに平成26年から同年齢となっている。

本県の平均初婚年齢は、全国同様上昇傾向にあるが、平成30年は、夫29.7歳、妻28.7歳で、夫婦ともに全国で最も低くなっている。

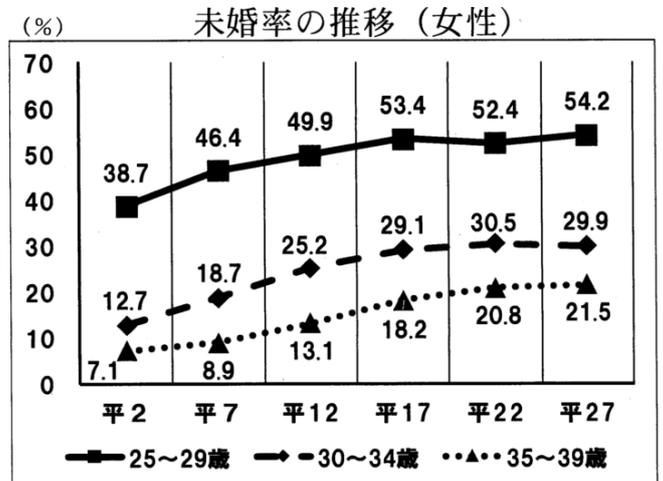
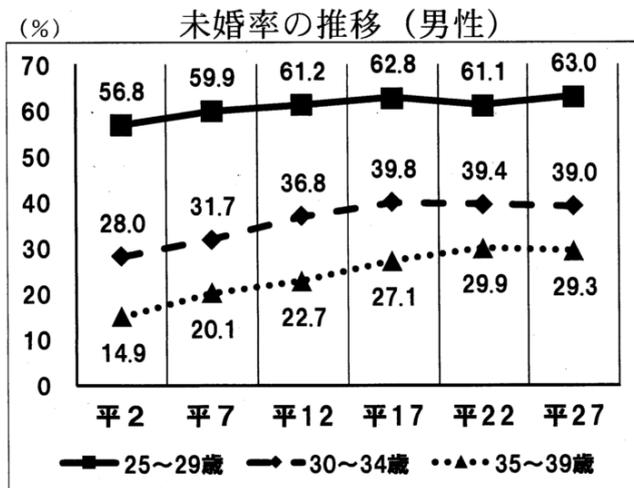


資料：厚生労働省「人口動態統計」

② 未婚化の状況

本県の平成27年の未婚率は、例えば、30～34歳では、男性は約4割(39.0%)、女性は約3割(29.9%)が未婚となっている。長期的に見ると未婚率は上昇傾向にあるが、男性の30～34歳、35～39歳、女性の30～34歳は、未婚率が減少している。

本県における50歳時未婚率 男性：21.51% (全国23.37%)
女性：13.68% (全国14.06%)



資料：総務省「国勢調査」

